

令和7年度 西区多職種研修会「災害時の情報共有」アンケート結果

開催日 2025年11月13日(木) 14時00分～16時00分

参加者34名(アンケート回収率 97%)

※集計および記載方法について：自由記述は、原則として原文のまま記載しています。

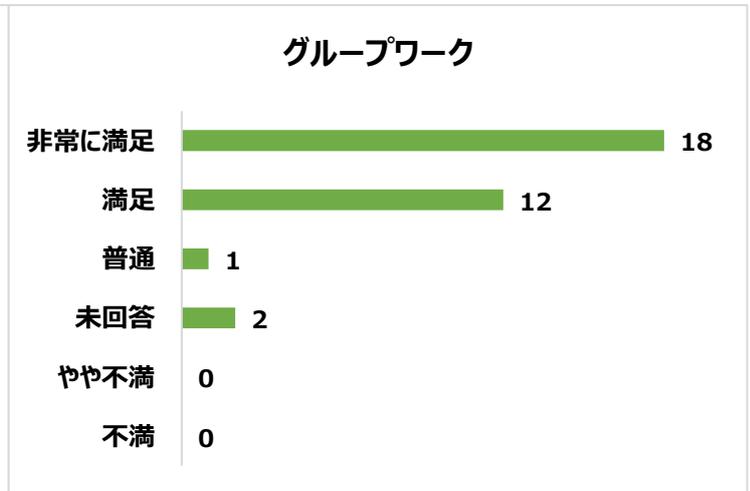
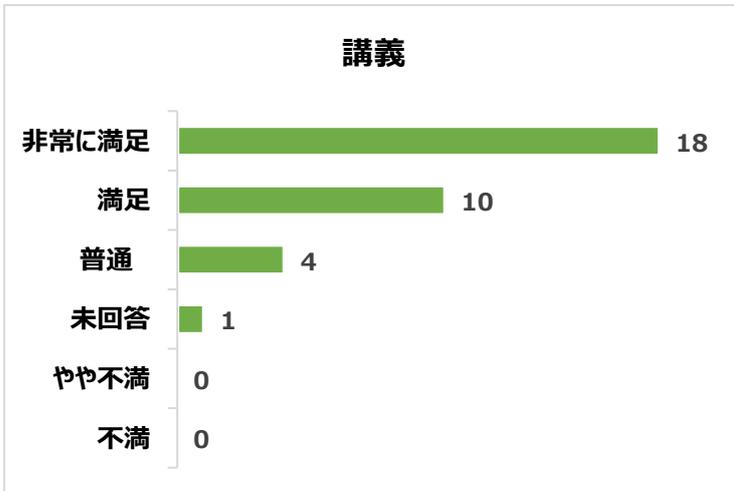
■ 職業



■ 所属



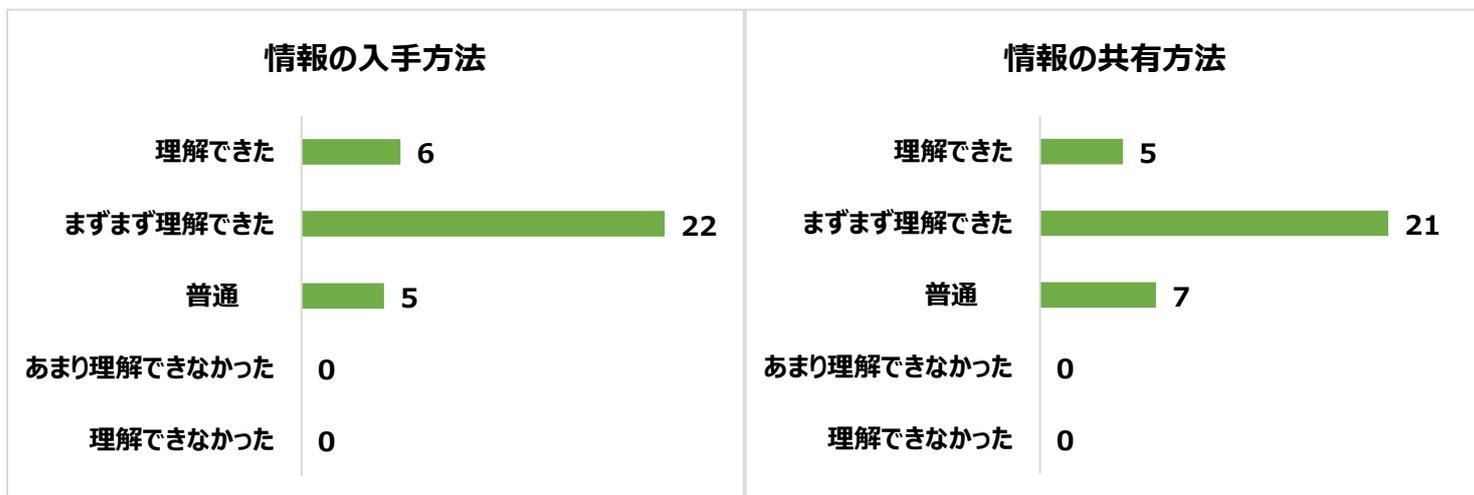
■ 講義とグループワークについて



感想

- ・グループワークが良かったです
- ・西区の災害の特性について知ることが出来ました
- ・少し考える時間が欲しかった
- ・同じ職種同士での話が出来てよかった
- ・大変参考になりました
- ・率直な意見交換ができて良かった
- ・それぞれの立場から意見を聞き参考になりました
- ・同じ福祉職でも施設と居宅の連携が必要と感じました
- ・とても興味深い内容でした、3分野の職種の立場からの見解が良かった
- ・自組織と異なる職域の話が聞けたのは良かった
- ・自院のみの情報しかなかったので他の事が多少知れてよかった
- ・他事業所の方と話が出来て良かったです、自分の見識が広がりました
- ・普段、話す事のない職種の方の意見が聞いて良かった、もっとグループワークで話してみたかった
- ・訪問看護が契約時に契約者の避難場所を聞いているなど、新たな知識が得られてよかった

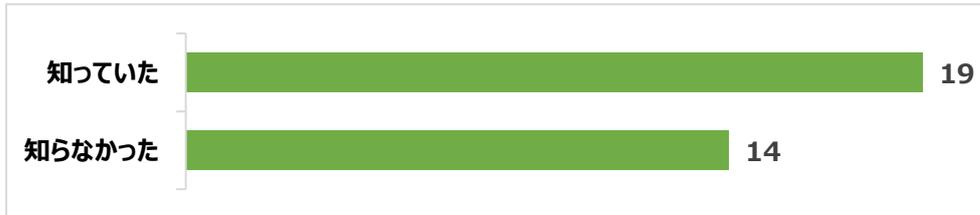
■災害時の情報共有について



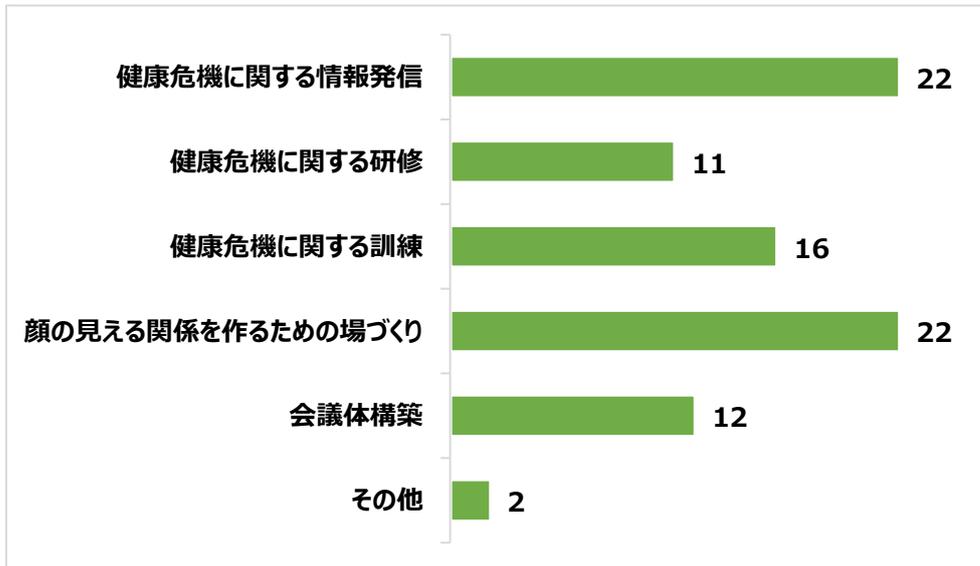
感想

- ・細かい点に不明な用語はありましたが、とても勉強になりました
- ・実際にどうするか、もっと深めることができるとよかった
- ・情報の集約や方法、課題について考えることができた
- ・今後に活かせるように今回の内容をまとめて各事業者に周知して欲しい
- ・平時からの準備、体制づくりが重要であることを学べた
- ・普段活用しているツールが使用できない場合の手段を考える必要があると気づかされた
- ・どこに行けば情報が得られるのか分からない部分を確認していきたい
- ・医療、行政、保健、福祉の連携がなければ災害時を乗り切れないと感じた
- ・情報を常にオープンにして欲しいと感じる
- ・情報の共有方法は普段から災害レベルに合わせた方法を机上だけでも良いので考えておかないといけないと感じました
- ・正直なところ、災害時は自院を守ることしか準備していません。しかし、それで良いのか考えさせられました
- ・情報の入手方法について漠然としていたものが少しははっきりしたように思いました

■ 保健センターが地域の健康危機管理拠点としての機能を担うことを知っていましたか



■ 保健センターが地域の健康危機管理拠点として平時の役割で期待されることを教えてください(複数回答)



「その他」の内訳

- ・いわゆる「弱者」の方の情報の一元化
- ・情報の集約

具体的な取り組みについての記載

- ・情報を集約することは今の方法で可能なのでしょうか
- ・災害時に訪問の垣根を超えた支援の協力が必要と思う、そのためにその指示は誰が出すのか？一括して情報を集約して各事業所への情報提供が必要と思うのでそのためのシステムの整備をしてほしい
- ・法定訓練を満たせるような形で多職種との共同訓練ができれば良いと思います
- ・地域単位での話し合いの場が必要
- ・区としての要配慮者対応の役割の違いと協力について、重なる部分もあるが話し合う必要がある

■ 本研修会並びに今後の西区の研修会についてご要望をお聞かせください

- ・区によって災害時の医療、福祉、行政の連携モデルがつけられている所もある様なので、区ごとにバラバラではなく同じようなシステムで動けることが望ましいのではないかと思います
- ・公助が協働していくためどこまでが共通認識なのか確認したり、共通認識を広げていけるといいと思う
- ・日頃の顔の見える関係づくりや情報を集約するツールの一元化など、難しい課題がまだまだあるなと思いました。具体的に状況を想定しながら自分の動きを考える機会は沢山ある方がいいと思います